

令和5年度中小企業組合等課題対応支援事業
(中小企業組合等活路開拓事業)
ワーキング委員会B(第1回)

——【ワーキング委員会B_会議資料】

テーマ 『廃棄物のリサイクルの推進』

- ①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について
- ②アンケート結果の報告
- ③専門家委員からのヒアリング
(アンケート結果の感想、現状認識、テーマ実現に向けた提言など)
- ④テーマ実現に向けたアクションプランの検討
- ⑤第2回ワーキング委員会Bの開催について

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

事業テーマ

「日車協連SDGs宣言」を通じ、持続可能な車社会を支える業界団体を目指す



①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

事業目的および概要

自動車車体整備を通じて社会的要請に応え、持続可能な車社会の実現に寄与することを目的に、次の4つのミッションを掲げて取り組む。

- 1.交換から修理の推進による廃棄量の低減
- 2.廃棄物のリサイクルを推進
- 3.各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業
- 4.次世代自動車に対応した整備体制の構築

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

目指すべき姿

私たちは、現代社会において地域の足、生活の足として不可欠な自動車を長く、安全・安心に整備するという社会的役割を担っている。

本連合会がSDGs宣言することで車体整備業界の社会的地位向上を推進するとともに、関係各所と良好なパートナーシップを築き、料金問題や人材不足など課題解決を図る。

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

目指すべき姿

私たちは、現代社会において地域の足、生活の足として不可欠な自動車を長く、安全・安心に整備するという社会的役割を担っている。

本連合会がSDGs宣言することで車体整備業界の社会的地位向上を推進するとともに、関係各所と良好なパートナーシップを築き、料金問題や人材不足など課題解決を図る。

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

ワーキング委員会A

テーマ：「交換から修理の推進による廃棄量の低減」

内容：テーマに基づき、廃棄量の低減につながる有効な修理技法を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日本技能研修機構、日本自動車車体補修協会

ワーキング委員会B

テーマ：「廃棄物のリサイクルの推進」

内容：テーマに基づき、自動車リサイクル法の適正運用とリサイクルパーツの利用促進につながる有効な手段を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日本自動車リサイクル部品協議会加盟3グループ

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

ワーキング委員会C

テーマ：「各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業」

内容：テーマに基づき、水性塗料ならびに特化則非該当製品の普及促進につながる有効な手段を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日車協連賛助会員である自動車補修塗料メーカー6社

ワーキング委員会D

テーマ：「次世代自動車に対応した整備体制の構築」

内容：テーマに基づき、ASVの整備情報ならびにEV等の整備体制の構築など次世代自動車の整備体制を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：钣金塗装作業を内製するメーカー系ディーラーおよび関連会社3社

②アンケート結果の報告

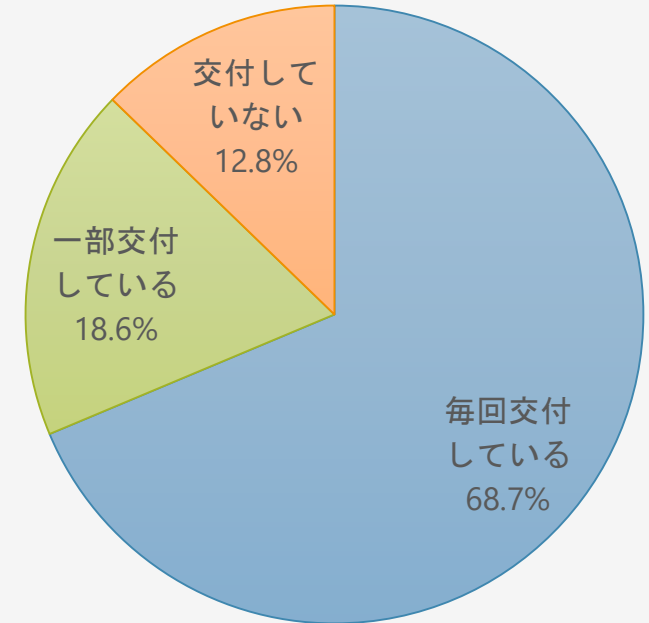
月間の産業廃棄物の処理費用はいくらですか？
また、ここ数年の上昇度合いは？

処理費用の全国平均	
5.42	万円

上昇度合いの全国平均	
1.41	倍

取引する産業廃棄物処理委託業者の数は？
また、マニフェストの交付は？

取引社数の全国平均	
2.05	社



月の産業廃棄物処理費用の全国平均は5.42万円で、近年の上昇度合いの平均は1.41倍だった。もっとも回答数を集めたのは1万円以上～2万円未満で、事業規模の違いもあるが、月間ではなく年間費用を回答したケースも否定できず、小規模で1～2万円、中規模以上で2～3万円程度が相場だと推測される。

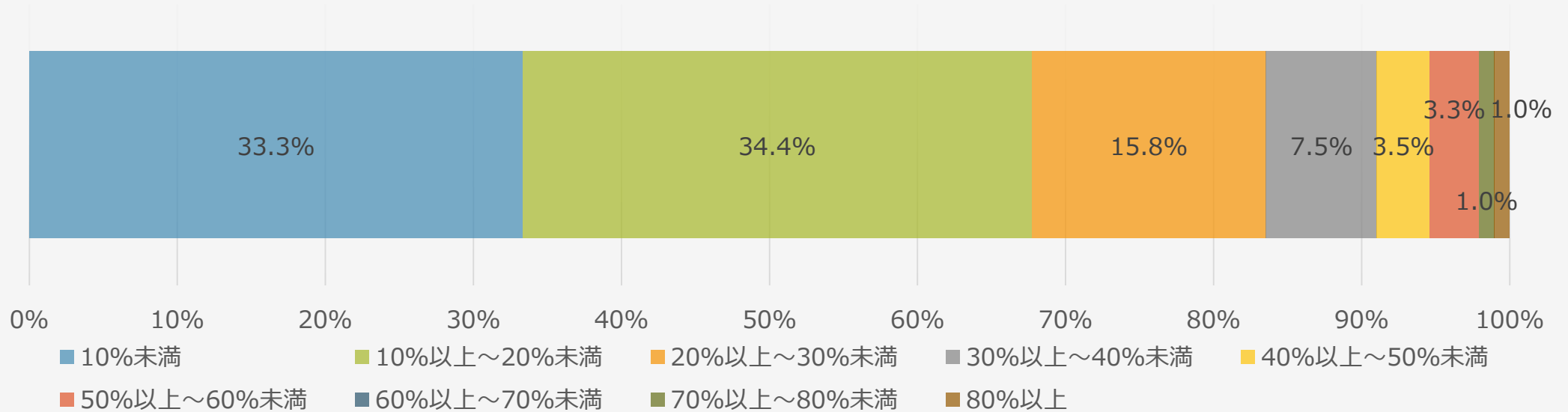
取引社数の平均は2.05社だった。マニフェストの交付は毎日が約7割、一部が約2割で、1割が交付していなかった。交付忘れなのか、そもそも産業廃棄物処理委託業者ではない単なる引き取り業者なのか、定かではないが、コンプライアンスの観点から必ずマニフェストの交付が必要であることを啓蒙する必要がある。

②アンケート結果の報告

取引するリサイクルパーツ販売業者の数は？ また、月間の部品仕入れ高に占めるリサイクルパーツの割合は？

取引社数の全国平均	
4.03	社

リサイクルパーツ割合の全国平均	
15.44	%



取引するリサイクルパーツ販売業者の平均は4.03社で、部品仕入れ高に占めるリサイクルパーツ割合の平均は15.44%だった。

直需客に対する提案は受け入れられやすい上、目に見えて修理費低減を実感できるためメリットが大きいが、さらなる推進を促すのであれば、保険修理時のメリットをいかに見いだせるかが課題となる。

③ 専門家委員からのヒアリング

- 月間産業廃棄物処理費用と近年の上昇度合いの結果について
- マニフェスト交付率70%の結果について
- 平均リサイクルパーツ使用割合15.44%の結果について
- 貴グループが取り組むSDGsの活動についての報告
- 経済産業省と環境省が進める「使用済み自動車に係る資源回収インセンティブ」により廃プラスチックおよび廃ガラスのリサイクルは進むか？
- 廃棄物処理費用の計上を損保会社に認めてもらうためには？
- ヤフオクやメルカリで自動車中古部品を購入できる現状について
- 近年の自動車リサイクル業界の現状について情報提供



テーマ実現に向けた具体的なアクションプランへの落とし込み